

Illustrator で絵型を描く。

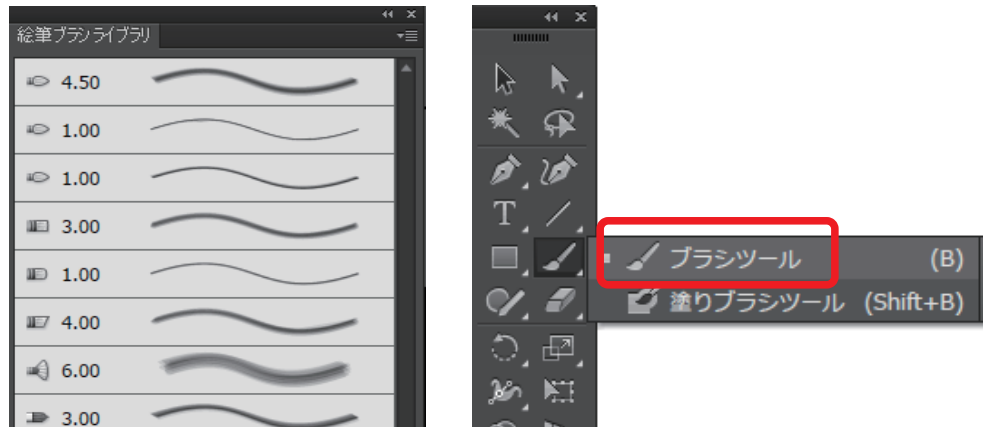
絵筆ブラシを使う。

絵筆ブラシを使うとファー等のちょっと面倒な表現も簡単に作成出来る。

但し、やはりリファー等の表現はマウスよりもペンタブの方がよりスマートに表現しやすい。

絵筆ブラシはウィンドウメニューから
ブラシライブラリ→絵筆ブラシで
パネルを表示出来る。

また絵筆ブラシを使用する時はツールの
ブラシツールを選ぶ必要がある。



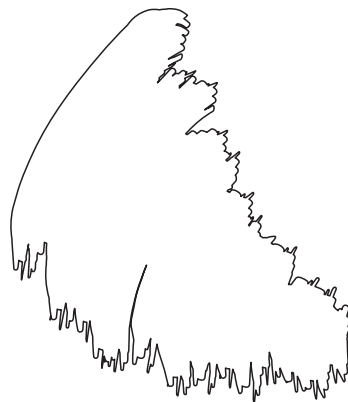
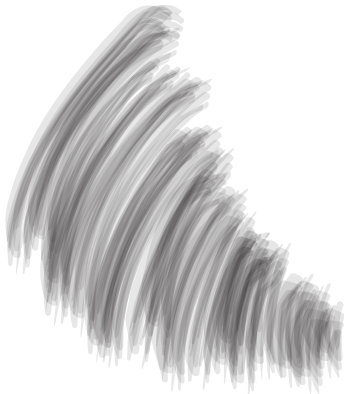
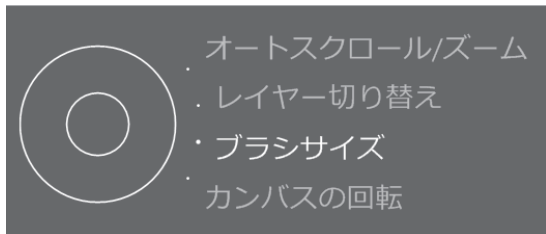
ペンタブのタッチホイールの切り替えボタンを押し
タッチホイールをブラシサイズに設定する。

この時キーボードの入力を英数に設定しておかないと

タッチホイールを指でなぞる度に画面に「」マークが出現してしまう。

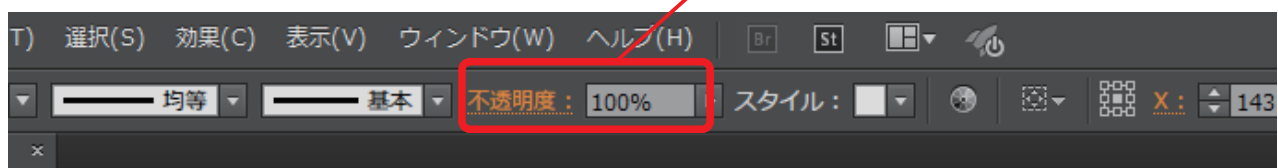


つまり！逆を言えば
ペンタブが無く、マウスのみでブラシを
使用する際はキーボードの
「」で ブラシサイズを縮小
」でブラシサイズを拡大出来る！！



ペンタブと絵筆ブラシの組合せで
ファーを描くと非常に楽にこのような形状を描き出す事が可能だ。

リアル過ぎて抵抗がある場合は
オブジェクトメニューから アピアランスを分割した後
パスファインダで合体、更にオブジェクトから複合パスを解除し
再びパスファインダで合体する
不透明度を 100%に設定し、塗り無し、線黒 にした。



ペンタブが無くても描けない事はないが ペンタブを使用したほうが遥かに描きやすい。

筆者は2世代前の Intuos 4 を使用しているが購入を検討するのであれば Intuos Pro のミディアムサイズがおすすめである。

因みにラージサイズの方が圧倒的に良いが、サイズが大きく、それなりに広いパソコンデスクが必要となる

最も良いのは液晶タブレットだが値段も驚きの価格な上に専用のスペースも必要になる。

アニメーターならば必要かもしれないがアパレルの仕事ではオーバースペックと思われる、、、が、、お金がある方は購入を検討してみては？？